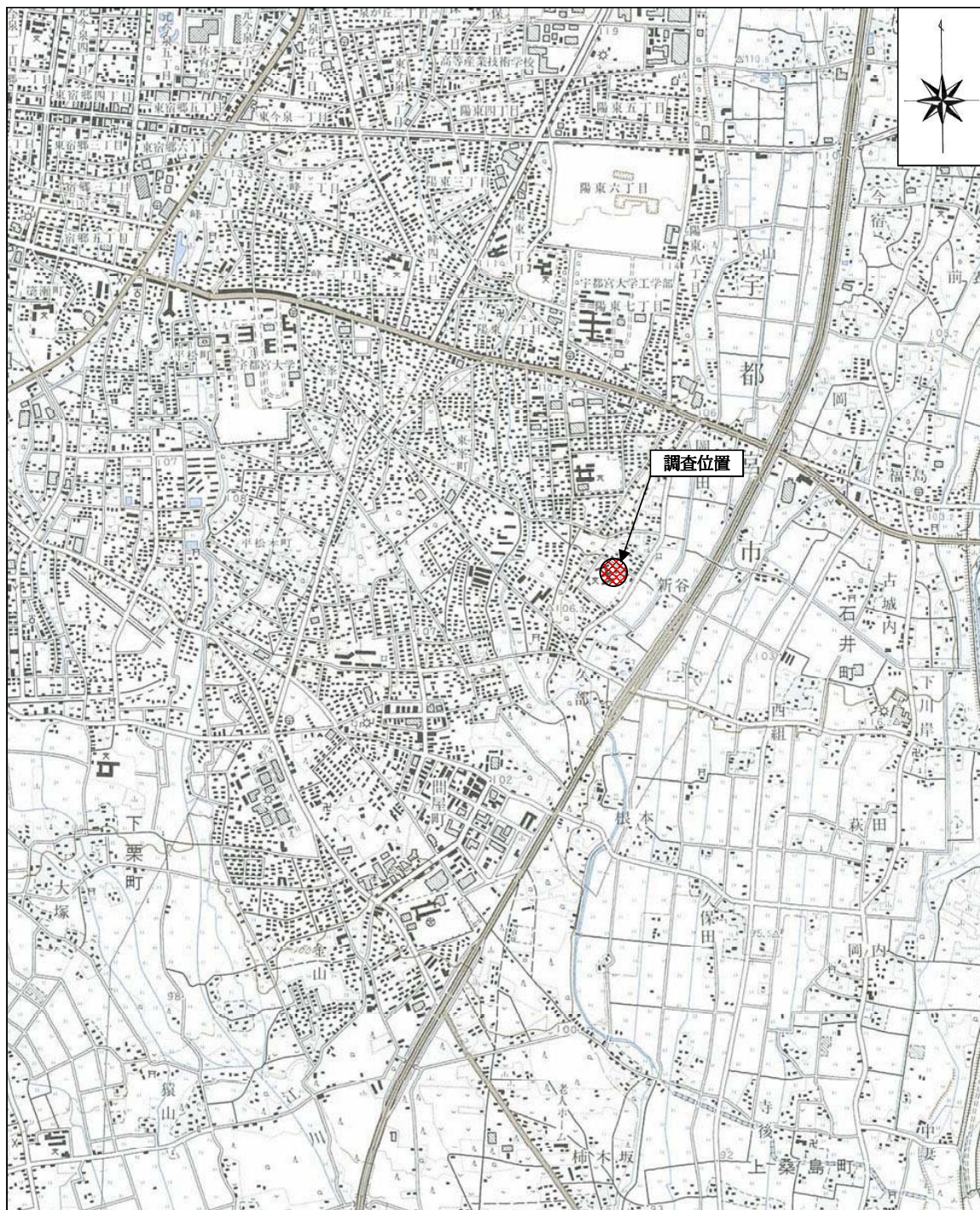
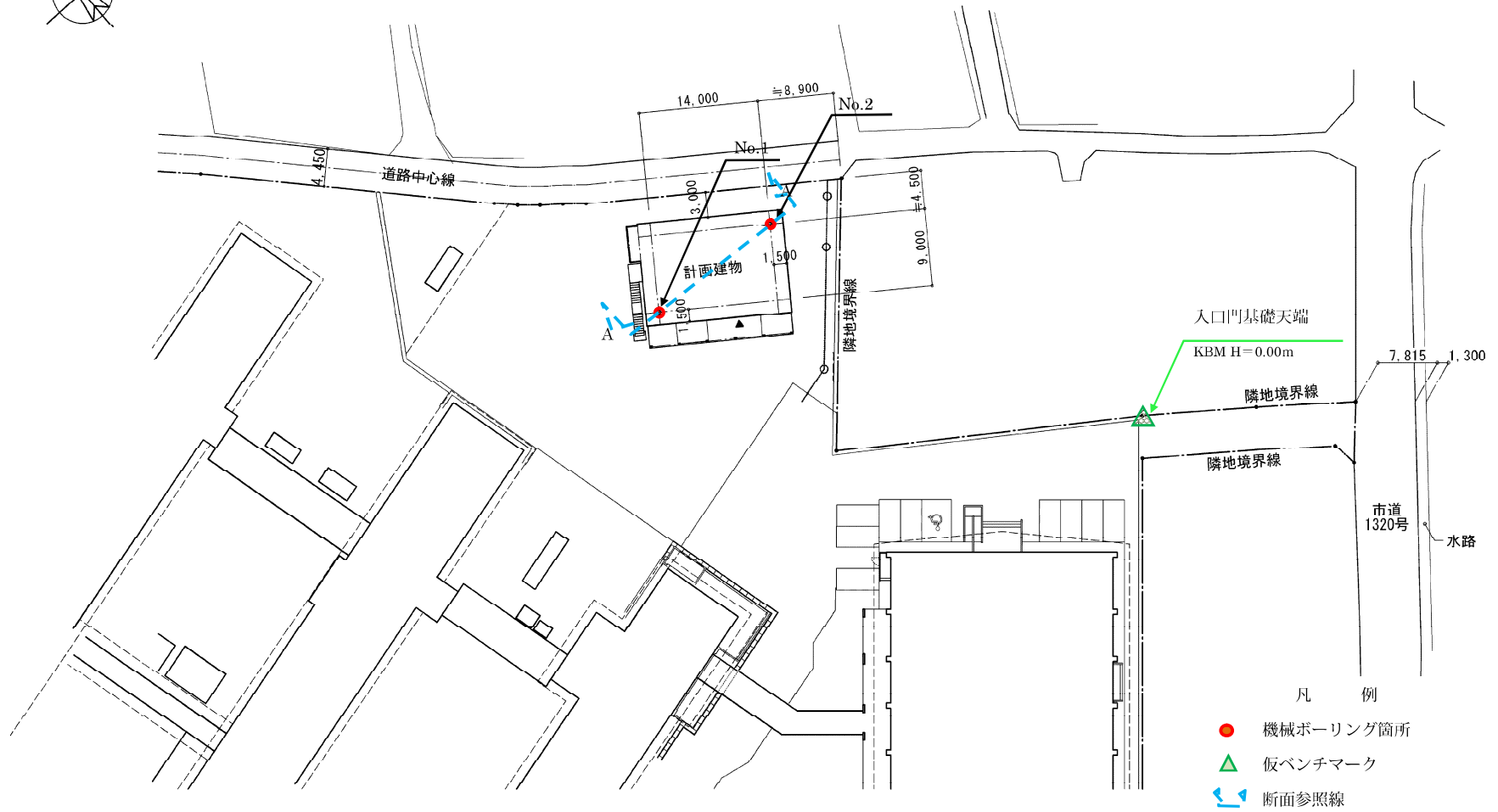


## 1.2 調査箇所位置図



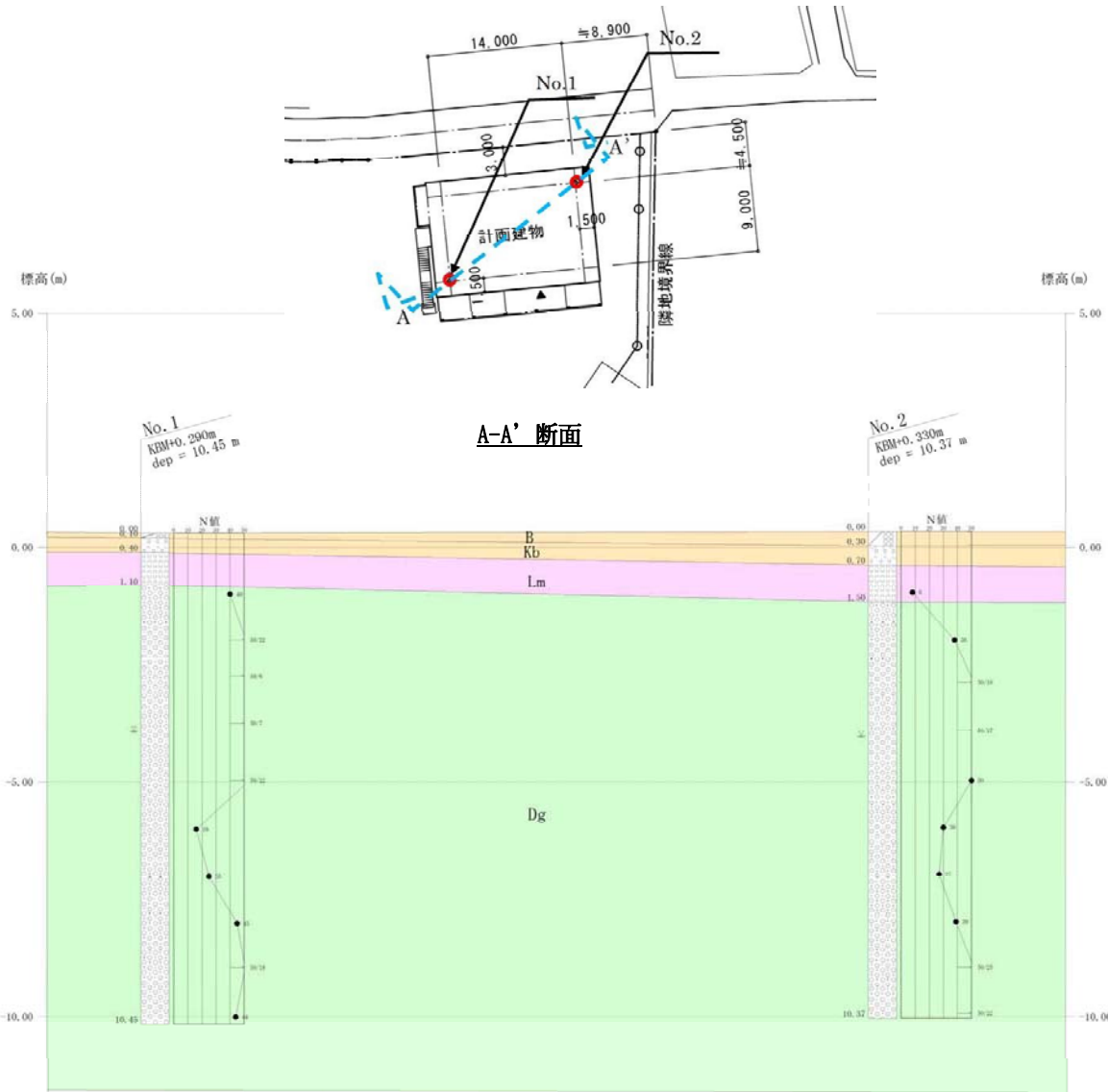
案内図（国土地理院刊行 S=1:25000 地形図「宇都宮東部」より抜粋）

調査位置



- 凡 例
- 機械ボーリング箇所
  - ▲ 仮ベンチマーク
  - 断面参照線

調査位置平面図 縮尺=1/500



凡 例

地層区分表

時代	地層区分	記号	主な土質	層厚 (m)	N値
新生代	盛土層	B	粘性土	0.1~0.3	--
	黒ボク層	Kb	黒ボク	0.4	4(推定)
第四紀	ローム層	Ln	ローム	0.7~0.8	8
	洪積砂礫層	Dg	玉石混じり砂礫 砂 粘土混じり砂礫	8.5~8.9*1	16~50以上

\*1ボーリングの最終掘削深度までの確認層厚

図 3.2 地層想定断面図

Sv=1/100、Sh=1/100

# ボーリング柱状図

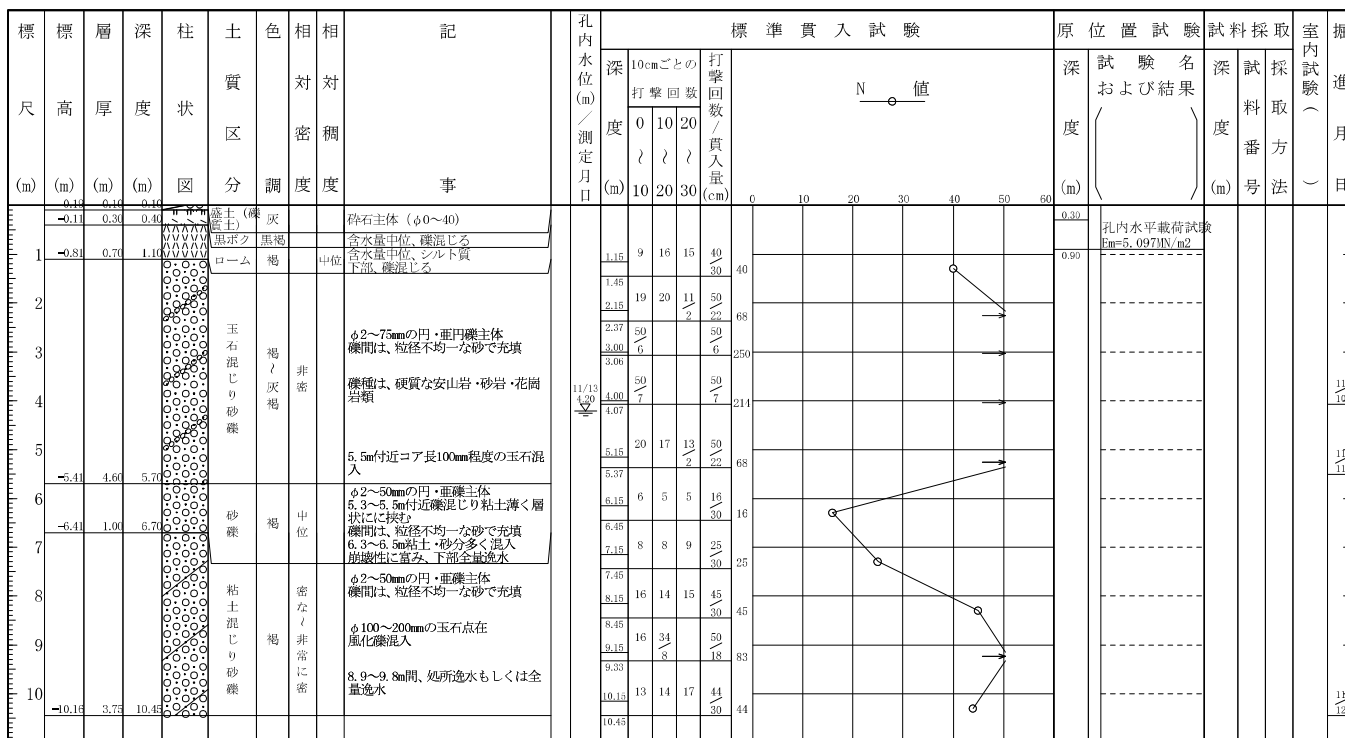
調査名 石井地域コミュニティセンター改築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo 3 9 0 8 5 1

事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	No. 1	調査位置	栃木県宇都宮市石井町1213番地(石井小学校敷地内)	北緯	36° 32' 26.65"
発注機関	宇都宮市 建設部 建築課	調査期間	平成 26年 11月 10日 ~ 26年 11月 13日	東経	139° 55' 49.28"
調査業者名	東洋測量設計 株式会社	主任技師		現場代理人	コ ア 鑑定者
ボーリング責任者		試験機	KR-100H2	ハンマー落下用具	半自動型
孔口標高	KBM +0.290m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	10.45m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	エンジン
					NFD-10
					ポンプ
					V-6B



## <凡例> 柱状図および土質区分

第1分類

区分	分類名	図様線
土質材料	礫 (G)	○ ○ ○ ○
	礫質土 (GP)	○ ○ ○ ○
	砂 (S)	● ● ● ●
	砂質土 (SP)	● ● ● ●
	シルト (M)	— — — —
	粘性土 (C)	— — — —
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
高有機質土(腐植土) (Pt)		

第2分類

区分	分類名	図様線
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	— — — —
	粘土質 (C)	— — — —
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-B)	○ ○ ○ ○
	砂利・礫混じり (-G)	○ ○ ○ ○
	砂混じり (-S)	● ● ● ●
	シルト混じり (-M)	— — — —
	粘土混じり (-C)	— — — —
有機質土混じり (-O)		
火山灰混じり (-V)		
貝殻混じり (-SA)	○ ○ ○ ○	

第3分類

区分	分類名	図様線
岩石材料	硬岩 (R)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
	玉 (B)	○ ○ ○ ○
特殊材料	浮石(軽石) (Pa)	○ ○ ○ ○
	シラス (S)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
土	ローム (Lm)	
	黒ボク (Bk)	
	マサ (M)	
	表土 (Sa)	
腐植物	腐植土 (F)	
	腐植物 (P)	

- 試料採取方法
- Ⓧ シンウォールサンプラーによる
  - Ⓨ デニソンサンプラーによる
  - Ⓩ 貫入試験器による
  - Ⓩ フォイルサンプラーによる
  - ⓐ ( ) による

備考

# ボーリング柱状図

調査名 石井地域コミュニティセンター改築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo 390852

事業・工事名

シートNo 2

ボーリング名	No. 2	調査位置	栃木県宇都宮市石井町1213番地(石井小学校敷地内)	北緯	36° 32' 26.8"
発注機関	宇都宮市 建設部 建築課	調査期間	平成 26年 11月 13日 ~ 26年 11月 17日	東経	139° 55' 50.42"
調査業者名	東洋測量設計 株式会社	主任技師		現場代理人	コア鑑定者
ボーリング責任者					
孔口標高	KBM +0.330m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総掘進長	10.37m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機 KR-100H2 エンジン NFD-10
					ハンマー落下用具 半自動型 ポンプ V-6B

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相	対密度	相対稠度	相対稠度	記号	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内試験	掘進	
										深さ (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)					
0.03	0.30	0.30		盛土(硬質土)					上部、碎石(φ0~10)シルト混じり砂礫	1.15	2	3	3	8			
-0.37	0.40	0.70		黒ボク					植物根、腐植物混じるな大量中位	2.15	13	9	16	38			
-1.17	0.80	1.50		ローム				中位	含水率中位、シルト質1.0m付近より、細砂分混入礫石混じる、下部露点在	2.45	50	50	50	10			
				玉石混じり砂礫	褐 / 灰褐			非常	φ2~75mmの円・亜円礫主体 礫間は、粒径不均一な砂で充填	3.15	26	24	7	50			
				砂礫	褐			中位	コア長30~80mm程度の玉石点在 礫種は、硬質な安山岩・砂岩・花崗岩類	4.32	17	18	15	50			
-1.57	3.40	4.90		砂礫	褐			中位	φ2~50mmの円・亜円礫主体 5.4m付近より全量逸水 5.5m付近、粘土薄く層状に挟む 粘土分多く、崩壊性に富む 6.6m付近からφ100mm程度の玉石多い	5.15	11	12	7	30			
				粘土混じり砂礫	褐			中位 / 非常に密	φ2~50mmの円・亜円礫主体 礫間は、粘土と粒径不均一な砂で充填 7.5m付近まで、逸水・崩壊性に富む 8.7~9.0m間、処所粘土質砂多い 9.0m付近、締まっている クサレ礫混入	6.45	8	8	11	27			
-5.47	1.90	6.80								7.45	20	11	8	39			
										8.15	22	20	8	50			
										8.45	9.15	22	20	8	50		
										9.40	17	23	8	22			
										10.15	10.37						

## <凡例>

### 柱状図および土質区分

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	粗質土 (GP)	● ● ● ● ● ● ● ●
	砂 (S)	□ □ □ □ □ □ □ □
	砂質土 (SP)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	シルト (M)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	粘性土 (C)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	有機質土 (O)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	火山灰質粘性土 (V)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
高有機質土(腐植土) (Pt)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	□ □ □ □ □ □ □ □
	シルト質 (M)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	粘土質 (C)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	有機質 (O)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	火山灰質 (V)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	玉石混じり (-B)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	砂利、礫混じり (-G)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	砂混じり (-S)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	シルト混じり (-M)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	粘土混じり (-C)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	有機質土混じり (-O)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	火山灰混じり (-V)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
貝殻混じり (-Sh)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

区分	分類名	図模様
岩石材料	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (OR)	
	軟岩、風化岩 (VR)	
	玉石 (BS)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	浮石(軽石) (Fr)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	シラス (Sl)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	スコリア (Sc)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	火山灰 (VA)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	ローム (Lr)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	黒ボク (Kb)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
マサ (Mg)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
表土 (Sa)		
堆土 (Fi)		
腐葉物 (V)		

### 試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ ( ) による

### 備考